

Panasonic®

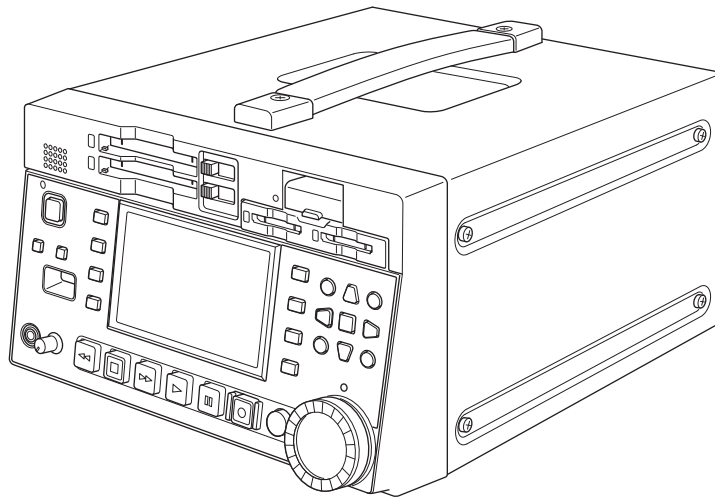
取扱説明書 簡易版

メモリーカードレコーダー

品番 **AJ-PD500**

P2HD

micro
P2



HDMI



AVC ULTRA

AVC INTRA

AVC Long G

DVC PRO HD

DVC PRO 50

DVC PRO

DX

このたびは、“パナソニック製品”をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

簡易版
取扱説明書

詳細は、当社 Web サイト (<http://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>) に掲載されている取扱説明書 (PDF) を参照してください。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4~6 ページ) を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

- AVCHD は、AVCHD コードックボードAJ-YCX500G(オプション)取り付け時にご利用いただけます。

- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- Microsoft[®]、Windows[®]は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- QuickTimeおよびQuickTimeロゴはライセンスに基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。
- Apple、Mac、Mac OS、MacBook、iPhone、iPod touch、iPad、QuickTime、Safari は、米国Apple Inc. の米国および他の国で登録された商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本書内のイラストについて

- レコーダー本体、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

参照ページについて

- 本書では、参照ページを(→「***」*ページ、PDF**ページ)のように示しています。

用語について

- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードのいずれも「SDメモリーカード」と記載しています。
- 「P2」ロゴがついたメモリーカード(別売のAJ-P2E064FGNなど)を「P2メモリーカード」と記載しています。
- 「microP2」ロゴのついたメモリーカード(別売品のAJ P2M032AGN など)を「microP2メモリーカード」と記載しています。
- 「P2メモリーカード」および「microP2メモリーカード」を、「P2カード」と記載しています。
また、「P2メモリーカードスロット」および、「microP2メモリーカードスロット」を、「P2カードスロット」と記載しています。
- システム周波数を、23.98 Hz、24 Hzで記録することを「ネイティブ記録」と記載しています。
- 本書では、下記OS(オペレーティングシステム)を、「Windows 7」と記載しています。
- Microsoft[®] Windows[®] 7 operating system 日本語版
- 本書では、下記OS(オペレーティングシステム)を、「Windows 8」と記載しています。
- Microsoft[®] Windows[®] 8 operating system 日本語版
- USBに接続される外部ハードディスクドライブ(HDD)などのメディアを「ストレージデバイス」と記載しています。
- 1回の記録動作により作成された映像を「クリップ」と呼び、そのように記載しています。
- 本機パネルのオレンジ色の文字のボタン名は[SHIFT] ボタンを押しながらそのボタンを押したときの名称です。操作説明上は「SHIFTを押しながら」とは記載せずにボタン名のみを記載しています。

本製品のプロキシー記録について

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC規格に準拠する動画(以下、AVC ビデオ)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
- ライセンスをうけた提供者から入手されたAVC ビデオを再生する場合
詳細については米国法人MPEG LA, LLC(<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。

WebサイトURLについて

- 日本語 <https://panasonic.biz/cns/sav/>
- 英語 <http://pro-av.panasonic.net/>

著作権について

- あなたが録画や録音した内容は、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

目次



安全上のご注意	4
電源プラグの接地に関するご注意	6
使用上のご注意.....	7
本機について	7
ご使用前に	9
必ず年月日・時刻、タイムゾーンの確認・設定を 行いましょう	9
本機で使えるメディアについて	9
ドライバーのインストールについて	9
付属品・オプション.....	10
付属品	10
オプション	10
各部の名称と機能	11
操作部	11
スロット他	13
入出力端子部	14
準備	17
電源の入れ方・切り方	17
電源を ON にする	17
電源を OFF にする	17
動作中の自動電源オフについて	17
年月日・時刻を合わせる	18
P2 カードについて	19
P2 カードアクセスランプと P2 カードの 状態について	19
P2 カードの記録時間について	19
各種モードについて.....	21
メインモード	22
録再画面	22
クリップを記録する	22
クリップを再生する	23
サムネール画面	24
サムネール画面を表示する	24
タイムコード・ユーザズビット・CTL	25
タイムコード	25
ユーザズビット	25
CTL	25
タイムコード/ユーザズビットの設定	25
設定メニュー	27
メニューの操作	27
メニュー構成	28
保証とアフターサービス (よくお読みください)	29
定格	30

安全上のご注意



必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

本機は…

異常、故障時には直ちに使用を中止する








- **異常があったときは、電源プラグを抜く**
[内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき]
(そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。)
⇒ 本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。
⇒ 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
⇒ お買い上げの販売店にご相談ください。





- **電源プラグは、根元まで確実に差し込む**
(差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。)
⇒ 傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。
- **電源プラグのほこりなどは、定期的にとる**
(プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。)
⇒ 半年に一度はプラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。
- **外部DC電源を使用するときは、電源電圧、およびDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続する**
(誤ってGND端子に+12 Vの電源を接続すると火災や故障の原因になります。)
⇒ 詳しくは15 ページを参照してください。
(DC電源は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)



警告(つづき)

	<p>■ ACコード・電源プラグが破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高温部や熱機器に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど] (傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。) ⇒ ACコードや電源プラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。</p> <p>■ コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流100 V～240 V以外での使用はしない (たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。)</p> <p>■ 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない (ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。) ⇒ 機器の上や近くに液体の入った花びんなどの容器や金属物を置かないでください。</p> <p>■ 不安定な場所に置かない (落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。)</p>
 分解禁止	<p>■ 分解や改造をしない (内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。</p> <p>■ 指定のカバー以外は外さない (内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
 接触禁止	<p>■ 雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない (感電の原因になります。)</p>
 水場使用禁止	<p>■ 水場で使用しない (火災や感電の原因になります。)</p>
 ぬれ手禁止	<p>■ ぬれた手で電源プラグやコネクタに触れない (感電の原因になります。)</p>

付属品、別売品は…

	<p>■ 付属品は指定の製品を使用する (本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。)</p>
	<p>■ SD / SDHC / SDXCメモリーカード(別売品)、microP2メモリーカード(別売品)は、乳幼児の手の届く所に置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>

⚠ 注意

本機は…



- **本機の放熱を妨げない**
[押し入れや本箱など、狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かない]
(内部に熱がこもり、火災の原因になります。)
- **直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない**
(特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。)
(本機を絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。)
- **油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない**
(火災や感電の原因になります。)
- **電源プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない**
(コードが傷つき、火災や感電の原因になります。)
⇒ 必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。
- **本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない**
(落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。)
(重さで外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。)
- **コードを下にたらしたり、接続したコードを通路で引き回したりしない**
(足などを引っ掛けると、コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、けがの原因になります。)
- **ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない**
(ヘッドホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。)



- **病院内や飛行機内では、病院や航空会社の指示に従う**
(本機が出す電磁波などが、計器類に影響を及ぼすおそれがあります。)
- **1年に1度ぐらいいは、販売店に内部の掃除の相談をする**
(本機の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因になります。)

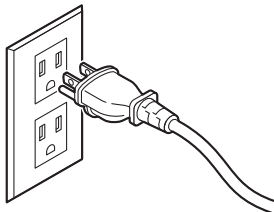


電源プラグ
を抜く

- **長期間使用しないときや、お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く**
(火災や感電の原因になります。)

電源プラグの接地に関するご注意

- 本機に付属されているACコードは、接地端子を備えた3ピンのコンセントに接続してください。



海外で使用する場合は、その国に合った接地端子付ACコードを準備してください。

使用上のご注意

本機について

■ 録画内容の補償はできません

- 本機およびP2カードの使用上、万一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。

■ 雨天、降雪中、海岸などで使うときは、本機に水が入らないようお気をつけください。

- 本機やカードの故障につながります。(修理できなくなる場合があります)

■ 本機を直射日光にさらされた場所に置かないでください。

- キャビネットの劣化や、液晶画面の損傷のおそれがあります。

■ 磁気が発生する機器(テレビ、テレビゲームなど)から本機を遠ざけてください。

- テレビの上やその周辺で本機を使用すると、電磁波の放射により画像や音声にひずみが生じることがあります。
- スピーカーや大型モーターが発生する強力な磁場は、録画内容を破損したり、画像をゆがめたりすることがあります。
- マイクロコンピュータから放出される電磁波は、本機に悪影響を及ぼし画像や音声にひずみを生じさせることがあります。
- 磁気が発生する機器により本機が悪影響を受け、正確に動作しなくなった場合は、本機の電源を切り、ACコードをコンセントから抜きます。そしてもう一度ACコードを接続します。その後本機の電源を入れます。

■ 本機をラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用しないでください。

- ラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用すると、記録した画像や音に悪影響が出るおそれがあります。

■ 海岸や野外などで使用する場合、砂やほこりが本機に入らないようお気をつけください。

- 砂やほこりで本機やカードが破損することがあります。(カードを出し入れするときには、お気をつけください)

■ 本機を持ち運ぶとき、落とさないようにお気をつけください。

- 強い衝撃で本機本体が破損し、正しく動作しなくなることがあります。

■ 本機に殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。

- 殺虫剤や揮発性のものがかかると、本機本体が変形したり、塗装がはげたりするおそれがあります。
- 本機は、ゴム製品やビニール製品に長期間接触させたままにしないでください。

■ メモリーカードやストレージデバイスを破棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパーソナルコンピュータの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカードやストレージデバイス内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカードやストレージデバイス本体を物理的に破壊するか、市販のパーソナルコンピュータ用データ消去ソフトなどを使って、メモリーカードやストレージデバイス内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカードやストレージデバイス内のデータはお客様の責任において管理してください。

■ 液晶について

- 液晶モニターのドットについては有効画素の99.99 %以上の高精度管理をしていますが、0.01 %以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではなく、記録された映像に何ら影響を与えるものではありません。
- 表示映像によっては、画面にムラが発生する場合があります。
- 液晶部を固い布で拭いたり、強くこすったりすると、表面に傷がつく原因となります。
- 液晶の応答速度や輝度は使用温度によって変化します。
- 本機を、温度や湿度の高いところに長時間放置すると、液晶パネルの特性が変化し、ムラの原因となります。
- 解像度の関係で、HD映像などは間引いて表示するため、すべてが表示されないことがあります。
- 液晶モニターはその特性上、明るい静止画などの長時間連続表示や、高温多湿環境下での連続使用をされると、残像、輝度低下、焼きつき、すじなどが発生したり、パネルの一部分の明るさが、しみのように恒久的に変化したままになる場合があります。

特に、次のような映像の長時間連続表示は避けてください。

- 明るい静止画
- 固定されたロゴマークなどの映像
- サムネール画面
- コンピューターのウインドウなどの明るい表示
- モニターのアスペクト比と異なるアスペクト比の映像(レターボックスなどの帯が表示される映像)

また、次のような環境での連続使用は避けてください。

- 高温多湿になる密閉された場所
- 空調設備の吹き出し口近くなど

上記のような映像や環境での長時間使用は液晶パネルの経年変化を早めます。

経年変化の現象を未然に防ぐため、次のことをおすすめします。

- 明るい静止画などは長時間連続して表示しない
- 輝度を下げる

- 使用しない場合は本体の電源を切る

残像現象は、画面表示を変えることで徐々に解消される場合もあります。

■ ネットワーク機能のご使用に関するお願い

ネットワーク機能を使用するためにネットワークに対して誤った設定を行った結果生じた損害に対して、当社では補償できませんので、あらかじめご了承ください。また、本機能を使用した結果生じた損害に対しましても、当社では補償できませんので、併せてご了承ください。

■ セキュリティに関するお願い

ネットワークをご使用になる場合、下記のような被害を受けることが想定されます。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本製品の不正操作
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止

パーソナルコンピューターや携帯端末のセキュリティ対策を十分に行ってください。

- パスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。
- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック株式会社および、その関係会社がお客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがありましても、パスワードを答えないでください。
- 本製品を修理、保守、廃棄、譲渡する場合は、情報の漏えいを防ぐためネットワーク設定の初期化を行ってください。

■ 本製品に関するソフトウェア情報

1. 本製品には、GNU General Public License(GPL)ならびにGNU Lesser General Public License(LGPL)に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。
 2. 本製品には、MIT-License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
 3. This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)
 4. 本製品には、OpenBSD Licenseに基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
 5. This product includes PHP, freely available from <<http://www.php.net/>>
 6. This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
 7. 本製品には、MOZILLA PUBLIC LICENSEに基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
- これらの内容(原文【英文】で記載しております)と、ソースコードの入手については、次のWeb サイトを参照してください。
<https://panasonic.biz/cns/sav/>
- なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

ご使用の前に

必ず年月日・時刻、タイムゾーンの確認・設定を行いましょ

記録したコンテンツの管理、再生順序に影響します。記録の前に年月日・時刻、タイムゾーンの設定・確認を行ってください。
(→「年月日・時刻を合わせる」18 ページ)

◆NOTE:

本機を長時間(約3か月)無通電で放置すると、電源投入時に「BACKUP BATT EMPTY」と表示されることがあります。その場合は年月日・時刻情報が初期化されていますので、再度設定を行ってください。(→「年月日・時刻を合わせる」18 ページ)
また、バックアップ電池の充電を行ってください。(→「BACKUP BATT EMPTY」PDF115 ページ)

本機で使えるメディアについて

以下のメディアが使用できます。詳しくはそれぞれのページをご覧ください。

■ 記録再生

- P2メモリーカードおよびmicroP2メモリーカード(→「P2カードについて」19 ページ)

■ プロキシ記録、データ保存、AVCHD再生

- SD / SDHC / SDXCメモリーカード(→「SD / SDHC / SDXCメモリーカードのご使用について」PDF22 ページ)

ドライバーのインストールについて

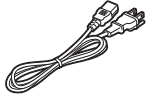
ご使用の前に、当社Webサイトから必要なドライバーをパーソナルコンピューターにインストールしてください。
ドライバーのインストール手順は、当社Webサイトにあるインストールマニュアルをご参照ください。

ドライバーに関する最新情報は当社Webサイトをご覧ください。(→「WebサイトURLについて」2 ページ)をご覧ください。

付属品・オプション

付属品

ACコード



- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

オプション

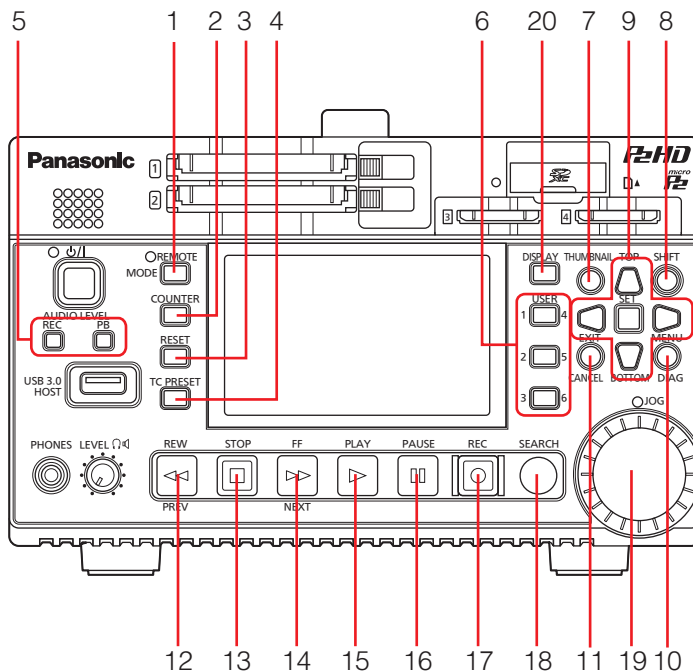
- AVCHDコーデックボード(AJ-YCX500G)

◆NOTE:

- オプションは、上記の製品以外は使用しないでください。
- オプションの取り付けは、お買い上げの販売店にご依頼ください。

各部の名称と機能

操作部



ボタン名表示について:ボタン表記で<****>の名称は[SHIFT]ボタンと同時に押したときの名称です。

<例> [SHIFT] ボタンと[REMOTE / MODE] ボタンの同時押しは、<MODE> ボタンと呼ぶ。

1. REMOTE・MODEボタン

[REMOTE] ボタン:

REMOTE端子から本機をコントロールするモードに切り替えるボタンです。

REMOTE端子から本機をコントロールできるときに、横のランプが点灯します。

<MODE>ボタン:

USB デバイスモード(USB DEVICE)、およびAVCHD再生モード、プレイリスト編集モードに切り替えるときに使用します。また、サーバー機能でログインを強制切断するときにも使用します。

(→「USBデバイスモード」PDF65 ページ、「AVCHD再生モード」PDF68 ページ、「P2 プレイリスト編集モード」PDF66 ページ、「録再モードでのサーバー機能を利用する」PDF58 ページ)

2. COUNTERボタン

カウンタ表示を以下の順番で切り替えることができます。

TC→UB→CTL→TC

(→「タイムコード・ユーザーズビット・CTL」25 ページ)

3. RESETボタン

表示パネルのカウンター表示がCTLのとき、このボタンを押すとカウンター表示が「0:00:00:00」になります。

(→「タイムコード・ユーザーズビット・CTL」25 ページ)

4. TC PRESETボタン

TCやUBの値を設定するボタンです。

(→「タイムコード・ユーザーズビット・CTL」25 ページ)

5. AUDIO LEVELボタン

[AUDIO LEVEL-REC]ボタン:

ボタンを押すと記録音声レベル調整画面が表示されます。(→「クリップを記録する」22 ページ)

[AUDIO LEVEL-PB]ボタン:

ボタンを押すと再生音声レベル調整画面が表示されます。(→「クリップを再生する」23 ページ)

6. USER 1-3・<4-6>ボタン

ユーザーが任意の機能を割り当てできるボタンです。

(→「USER BUTTON」PDF102 ページ)

7. THUMBNAILボタン

サムネール画面の表示・非表示を切り替えます。

(→「サムネール画面を表示する」24 ページ)

8. SHIFTボタン

このボタンを押しながら他のボタンを同時に押すことで、定義されたボタン操作を行います。

9. カーソル操作ボタン

[上] / [下] / [左] / [右]カーソルボタン:

- サムネールやメニューなどのカーソル移動の操作を行います。
- 再生静止画を表示中に[上] / [下]カーソルボタンを押すと、コマ送りができます。(→「コマ送り再生」PDF28 ページ)
- 記録再生音声レベル調整の音声チャンネル切り替えに、[左] / [右]カーソルボタンを使用します。(→「クリップを記録する」22 ページ)

<TOP> / <BOTTOM>ボタン:

サムネールの先頭(TOP)あるいは最終 (BOTTOM)へカーソルを移動します。

[SET] ボタン:

サムネールの選択やメニュー選択などの操作を行います。

10. MENU・DIAGボタン

[MENU]ボタン:

ボタンを押すとメニューを表示します。

<DIAG>ボタン:

メニューを表示していないときにボタンを押すと、各種状態表示を行うダイアグ画面を表示します。(→「デッキ情報(ダイアグ)表示」PDF78 ページ)

11. EXIT・CANCELボタン

[EXIT]ボタン:

メニューを閉じたり、ストレージ・エクスプローラーから通常の表示へ戻ります。

<CANCEL>ボタン:

選択の解除やコピー操作の中断などを行います。

12. REW・PREV ◀ ボタン

[REW]ボタン:

早戻し再生します。速度は、メニュー「FF.REW MAX」(→PDF90 ページ)で選択可能です。

<PREV>ボタン:

再生中に、現在または前のクリップ、あるいはクリップおよびテキストメモ位置の頭だしを行います。

13. STOP ◻ ボタン

再生または記録を停止します。

14. FF・NEXT ▶ ボタン

[FF]ボタン:

早送り再生します。速度は、メニュー「FF.REW MAX」(PDF→90 ページ)で選択可能です。

<NEXT>ボタン:

再生中に次のクリップ、あるいはクリップおよびテキストメモ位置の頭だしを行います。

15. PLAY ▶ ボタン

再生します。

(→「クリップを再生する」23 ページ)

16. PAUSE ◻ ボタン

再生中に押すと一時停止(STILL)し、静止画を表示します。一時停止中に押すと再生が開始されます。記録中に押すと記録待機(PAUSE)状態となります。記録待機状態中に押すと記録が開始されます。

17. REC ◻ ボタン

再生画出力中にEEの映像と音声を確認できます。停止中以外はボタンを押している間、停止中は一度ボタンを押し、その他のボタンを押すまではEEを継続します。EEの確認は、再生画のフォーマットとメニュー「LINE&FREQ」(→PDF108 ページ)の設定が一致するときのみ可能です。記録可能なメディアがない場合は動作しません。

[PLAY] ▶ ボタンと同時に押すと記録を開始します。

[PAUSE] ◻ ボタンと同時に押すと記録待機状態となります。メニューを設定することでカメラからのリモート記録ができます。

リモート記録の設定はメニュー「AUTO REC」(→PDF89 ページ)で行います。

18. SEARCHボタン

このボタンを押すとサーチモードになります。

19. マルチコントロールダイヤル

サーチモードのとき:

映像確認、検索のためのダイヤルとなります。押すたびにSHTL(シャトル)モードとJOG(ジョグ)モードが交互に切り替わります。

- サーチモードに切り替えた直後は、SHTLモードで動作します。

記録・再生音声レベル調整のとき:

[AUDIO LEVEL-REC]ボタンまたは[AUDIO LEVEL-PB]ボタンを押し、マルチコントロールダイヤルを回すことで記録・再生音声レベル調整を行うことができます。

(→「クリップを記録する」22 ページ、「クリップを再生する」23 ページ)

サムネール画面のとき:

ダイヤルを回すと、[左] / [右]カーソルボタンと同じ動きをします。

ダイヤルを押すと、[SET]ボタンと同じ動きをします。

メニュー表示のとき:

ダイヤルを回すと、[上] / [下]カーソルボタンと同じ動きをします。

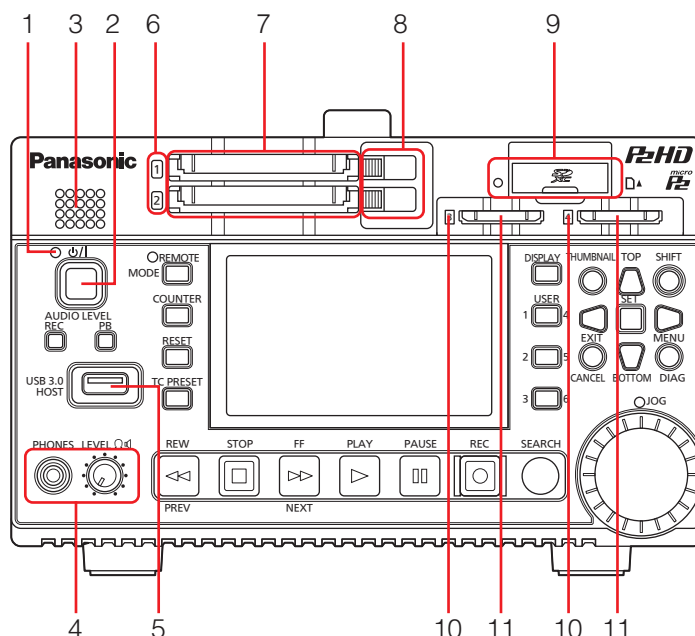
ダイヤルを押すと、[SET]ボタンと同じ動きをします。

20. DISPLAYボタン

OSDの表示を「表示なし」→「OSD表示」→「表示なし」と切り替えることができます。

(→「画面の表示」PDF77 ページ)

スロット他



1. 音/ランプ

(→「電源の入れ方・切り方」17 ページ)

2. 音/ボタン

電源のON / OFFを行います。

(→「電源の入れ方・切り方」17 ページ)

3. スピーカー

オーディオのモニター音を出力します。

ヘッドホンを接続するとモニター音は出力されません。

4. PHONES / LEVEL

ヘッドホンジャック:

ステレオヘッドホンを接続すると、記録・再生中の音声をヘッドホンで聞くことができます。

モニター音量調整つまみ:

ヘッドホンまたはスピーカーのモニターの音量が調整できます。

MON L/R出力端子を連動させるか連動させないかは、メニュー「MONITOR OUT VOL.」(→PDF98 ページ)で設定します。

5. USB HOST端子(USB3.0 TYPE A)

(→「USB HOST端子で外部機器と接続する」PDF44 ページ)

◆NOTE:

- 本端子に接続するケーブルは、ダブルシールドのものをご使用ください。
- USB3.0対応のストレージデバイスと接続する場合は、USB3.0規格準拠のケーブルをご使用ください。

6. P2メモリーカードアクセスランプ

(→「P2 カードアクセスランプとP2カードの状態について」19 ページ)

7. P2メモリーカードスロット

(→「P2カードについて」19 ページ)

8. EJECTボタン

(→「P2カードについて」19 ページ)

9. SD / SDHC / SDXCメモリーカードスロット / アクセスランプ

SD / SDHC / SDXCメモリーカードを挿入します。

挿入するときは、カードのラベル面を上にしてコーナーカット側から入れ、ロックされるまで挿入します。

取り出すときは、アクセスランプが緑色点灯あるいはオレンジ色点滅していないことを確認し、カードを挿入した方向に押しつけてロックを解除します。

◆NOTE:

SD / SDHC / SDXCメモリーカードは、CPSパスワードの読み込み、メニューの読み書き、メタデータの読み書き、プロキシ記録、AVCHD再生に使用します。
(→「SD / SDHC / SDXCメモリーカードのご使用について」PDF22 ページ)

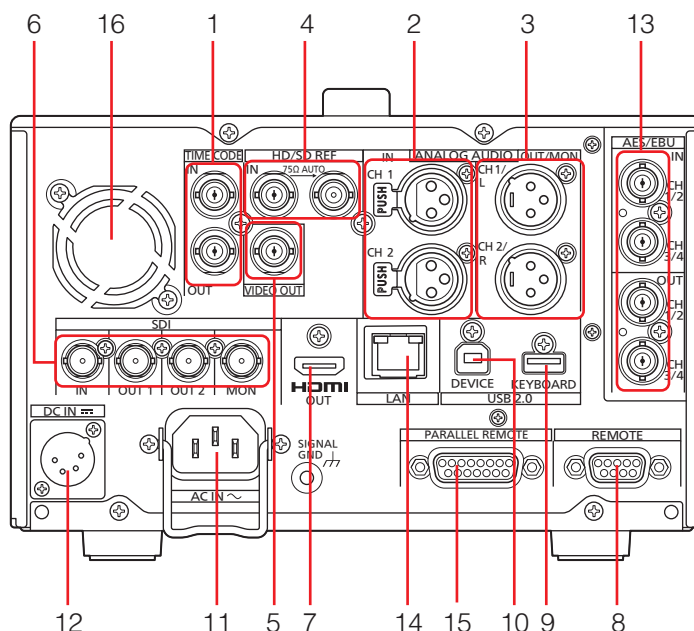
10. microP2メモリーカードアクセスランプ

(→「P2 カードアクセスランプとP2カードの状態について」19 ページ)

11. microP2メモリーカードスロット

(→「P2カードについて」19 ページ)

入出力端子部



1. TIME CODE IN / OUT端子

TIME CODE IN: 外部タイムコードを、P2カードに記録するための端子です。

TIME CODE OUT: 再生時は再生タイムコードを出力します。
記録時は内蔵タイムコードジェネレーターから発生するタイムコードを出力します。

2. ANALOG AUDIO IN端子

アナログオーディオの入力端子です。

3. ANALOG AUDIO OUT / MON出力端子

オーディオ信号(CH1～CH8)の中からメニュー「MONITOR CH」(→PDF98 ページ)で選択した信号を出力します。

4. REF IN端子

HD / SDリファレンス・ビデオ信号の入力端子です。

◆NOTE:

- HDリファレンスとして使用するときは、正負両極性の3値同期信号を入力してください。また、入力信号やSYSTEMフォーマットにあった信号を入力してください。
- SDリファレンスとして使用するときは、SMPTE ST 170、ITU624-4に準拠したブラックバースト信号を入力してください。
- リファレンス・ビデオ信号を入力しないとき、映像や音声の出力信号が乱れることがあります。リファレンス・ビデオ信号を入力するシステムで使用することをお勧めします。
- 1080p、720pでは、HDリファレンスまたはSDリファレンスを入力せずに記録を行うと、入力信号に対して位相がずれて記録されることがあります。

5. VIDEO OUT端子

アナログ・コンポジット・ビデオ信号を出力します。

◆NOTE:

1080-24PsFモードでは信号は出力されません。

6. HD / SD - SDI IN / OUT / MON端子

シリアル・デジタル・コンポーネント・オーディオ / ビデオ信号の入出力ができます。

メニュー「OSD OUTPUT」(→PDF100 ページ)の設定により、スーパーを重畳する出力端子を変更することができます。また、メニュー「GUI OUTPUT」(→PDF100 ページ)の設定によりサムネイル画面を重畳する出力端子を変更することができます。

◆NOTE:

本端子に接続するケーブルは、5C-FB相当のダブルシールドのものをご使用ください。

7. HDMI OUT端子

HDMIケーブルを使用し、モニターやテレビと接続します。

◆NOTE:

- 本機はピエラリンクに対応していません。ピエラリンク対応機器とHDMIケーブルで接続すると、他の機器のピエラリンクが正しく動作しないことがありますのでお気をつけください。
- 本端子に接続するケーブルは、ダブルシールドのものをご使用ください。
- メニュー「[LINE&FREQ]」(→PDF108 ページ)が次の値に設定されているときは、以下の動作となります。
 - 「1080-25PsF」モードでは1080-50iとして出力されます。
 - 「1080-29.97PsF」モードでは1080-59.94iとして出力されます
 - 「1080-24PsF」および「23.98PsF」モードでは出力されません。

8. REMOTE端子

本機と外部コントローラーを接続して、外部機器から本機を操作できます。

◆NOTE:

本端子に接続するケーブルは、ダブルシールドのものをご使用ください。

9. KEYBOARD端子(USB 2.0 TYPE A)

メタデータ入力などのときに外付けのUSBキーボードを接続してデータ入力などを行うことができます。
(→「キーボードの利用」PDF111 ページ)

10.USB2.0 デバイス端子

(→「USBデバイスモード」PDF65 ページ)

◆NOTE:

本端子に接続するケーブルは、ダブルシールドのものをご使用ください。

11.AC IN端子

付属のACコードを使って、電源コンセントに接続します。

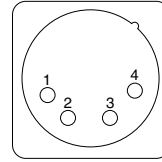
◆NOTE:

AC電源と外部DC電源の両方を接続した場合、AC電源からの供給が優先されます。

12.DC IN端子

DC12Vの電源を接続します。

電圧が約10.6 Vまで低下したとき、本機の電源は自動的にOFFになります。(メニュー「EXT DC IN SELECT」(→PDF101 ページ)の設定が「DC PWR SUPPLY」のとき)その後、電源電圧が回復しても自動的に復帰しません。
[⏻/⏪] ボタンを押して電源をONにしてください。



DC IN端子

ピン番号	信号
1	GND
2,3	-
4	+12 V

◆NOTE:

DCコードは、2 mより短いシールドケーブルを使用してください。2 m以上のDCコードを使用すると、画面にノイズが発生することがあります。

外部DC電源を使用するときは、必ず、外部DC電源の定格をご確認のうえ、本機に適合するものを使用してください。外部DC電源のDC出力端子と本機のDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。誤ってGND端子に+12 Vの電源を接続すると、火災やけがの原因になります。

13.AES / EBU IN / OUT端子

AES/EBU規格に準拠したデジタル・オーディオ信号の入出力端子です。

◆NOTE:

- 入力するデジタル・オーディオ信号は、ビデオ入力信号に同期している必要があります。同期していないときは、オーディオ出力信号にノイズが発生します。
- 本端子に接続するケーブルは、ダブルシールド付きのものをご使用ください。

14.LAN端子

1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-Tでネットワーク接続することができます。

(→「本機をネットワークに接続して利用する」PDF53 ページ)

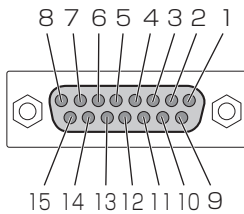
◆NOTE:

- 本端子に接続するケーブルは、シールド付きのものをご使用ください。
- LANリンクが確立している場合は、オレンジのランプが点灯します。データ転送中は緑のランプが点滅します。

15. PARALLEL REMOTE端子

15pinパラレルリモート端子です。

各ポートへの割り当ては、メニュー「PARALLEL PORT PORT1~7 PORT9~14」(→ PDF103、PDF104 ページ)で選択することができます。



ピン No.	端子名	機能
1	PORT1	コマンド入力ポート1
2	PORT2	コマンド入力ポート2
3	PORT3	コマンド入力ポート3
4	PORT4	コマンド入力ポート4
5	PORT5	コマンド入力ポート5
6	PORT6	コマンド入力ポート6
7	PORT7	コマンド入力ポート7
8	+5V出力(+180mA max.)	
9	PORT9	ステータス出力ポート1
10	PORT10	ステータス出力ポート2
11	PORT11	ステータス出力ポート3
12	PORT12	ステータス出力ポート4
13	PORT13	ステータス出力ポート5
14	PORT14	ステータス出力ポート6
15	GND	GND

◆NOTE:

- 入力信号はTTLレベル、アクティブLOW、エッジは100 msec以上の電気信号を流してください。
- 出力信号はオープンコレクタ、シンク電流は最大6 mAで出力されます。
- 本端子に接続するケーブルは、シールド付きのものをご使用ください。

16. FAN

本機冷却用のファンです。通風を妨げないように設置してください。

◆NOTE:

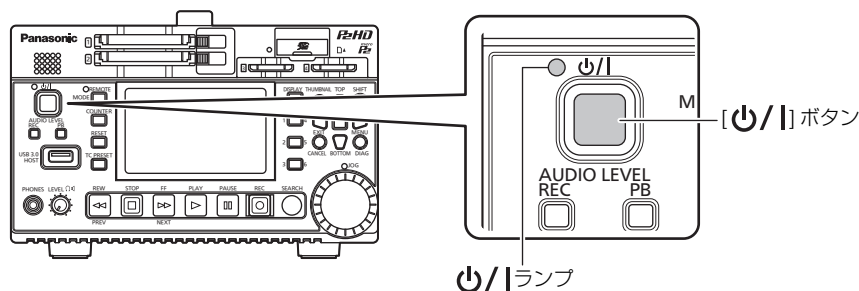
電源ON中に、ファンが停止したときは、ワーニング表示として「FAN STOPPED」が表示されます。ファンが停止しても本機は動作しますが、すみやかに使用を中止してください。

準備

電源の入れ方・切り方

電源をONにする

電源がOFFの状態ですべてのボタンを押すと、電源がONになります。
起動後は電源ランプが緑色に点灯します。



◆NOTE:

起動中は以下のメッセージが表示されます。

- [STARTING SYSTEM...]: 起動中点滅します。
- [AUTO POWER OFF = * min]: "*"にはメニュー「AUTO POWER OFF」(→PDF94 ページ)で設定されている時間が表示されます。また、メニュー設定を「OFF」に設定すると、このメッセージは表示されません。



電源をOFFにする

電源ONの状態ですべてのボタンを2秒以上押し続けると、電源がOFFになります。
電源OFF処理中は電源ランプが点滅し、その後電源ランプが消灯します。

動作中の自動電源オフについて

本機は、記録、再生、コピーおよびフォーマットなどの動作をしていない状態がしばらく経過すると自動的に電源がOFFになる機能があります。自動でOFFになった後でご使用になるときは、再度電源をONにしてください。

◆NOTE:

- 電源を自動的にOFFにするまでの時間は、メニュー「AUTO POWER OFF」(→PDF94 ページ)で設定できます。

年月日・時刻を合わせる

本機を最初に使用する前に時計の設定を行います。

1 本機の[ON/OFF] ボタンを押し、電源をONにする

2 [MENU] ボタンを押してメニューを開く (→「メニューの操作」27 ページ)

3 カーソルボタンで、メニュー「I/F SETUP」 - 「CLOCK」(→PDF94 ページ)を選択し、[SET] ボタンを押す 時計の設定画面が表示されます。初期値は現在時刻です。



4 [左]/[右] カーソルボタンで設定したい部分にカーソルを移動する

- 年/月/日/時/分/タイムゾーンの順で表示されています。
- タイムゾーンでは、グリニッジ標準時間からの時差を設定します。
- 時刻は24時制で表示しています。

5 [上]/[下] カーソルボタンで年月日・時刻・タイムゾーンを設定する

6 設定後、[SET] ボタンを押す

[SET] ボタンを押すことで変更した時刻が時計に設定されます。

◆NOTE:

- 時刻には誤差が生じますので、使用前に時間が合っているか確認してください。
- 正確な時刻を必要とするときは、ご使用前に、時刻確認、再設定を行ってください。

■ タイムゾーン表

時差	地域	時差	地域
00:00	グリニッジ	+ 01:00	中央ヨーロッパ
- 00:30		+ 01:30	
- 01:00	アゾレス諸島	+ 02:00	東ヨーロッパ
- 01:30		+ 02:30	
- 02:00	中部大西洋	+ 03:00	モスクワ
- 02:30		+ 03:30	テヘラン
- 03:00	ブエノスアイレス	+ 04:00	アブダビ
- 03:30	ニューファンドランド島	+ 04:30	カブール
- 04:00	ハリファックス	+ 05:00	イスラマバード
- 04:30		+ 05:30	ボンベイ
- 05:00	ニューヨーク	+ 06:00	ダッカ
- 05:30		+ 06:30	ヤンゴン
- 06:00	シカゴ	+ 07:00	バンコク
- 06:30		+ 07:30	
- 07:00	デンバー	+ 08:00	北京
- 07:30		+ 08:30	
- 08:00	ロスアンゼルス	+ 09:00	東京
- 08:30		+ 09:30	ダーウィン諸島
- 09:00	アラスカ	+ 10:00	グアム
- 09:30	マルケサス諸島	+ 10:30	ロード・ハウ・アイランド
- 10:00	ハワイ	+ 11:00	ソロモン諸島
- 10:30		+ 11:30	ノーフォーク島
- 11:00	ミッドウェイ諸島	+ 12:00	ニュージーランド
- 11:30		+ 12:45	チャタム諸島
- 12:00	クワジャリン	+ 13:00	
+ 00:30			

■ 内蔵時計の電池について

長期間電源を入れていない場合など内蔵時計の電池が空になると、「BACKUP BATT EMPTY」警告が表示されます。その場合は、ACアダプターを接続し、約4時間そのままにして電池の充電を行ってください。

充電後も「BACKUP BATT EMPTY」の警告が表示される場合は、内蔵電池の交換が必要です。お買い上げの販売店にご依頼ください。

P2カードについて

P2 カードアクセスランプとP2カードの状態について

P2カードアクセスランプ	P2カードの状態	
緑色に点灯	記録可能	書き込み/読み出しとも可能です。
オレンジ色に点灯	記録対象	書き込み/読み出しとも可能で、現在記録の対象になっています。
オレンジ色の点滅	アクセス中	現在、書き込み/読み出し中です。
オレンジ色の早い点滅	カード認識中	P2カードを認識中です。
緑色の遅い点滅	カードフル	P2カードのメモリー残量がありません。読み出しのみ可能です。
	ライトプロテクト	P2カードのライトプロテクトスイッチがProtect側になっています。読み出しのみ可能です。
	記録対象外のカード	SDメモリーカードなどが挿入されているため、現在設定されている記録フォーマットでは、記録できません。記録するには、記録フォーマットを変更するか、P2カードをご使用ください。
	記録対象外のスロット	メニュー「REC/PB SETUP」-「REC MEDIA」(P2/microP2) (→PDF90 ページ) の設定と異なるスロットにカードが挿入されています。
消灯	対象外のカード	本機では使用できないカードです。カードを交換してください。
	フォーマット不正	P2カードが正規のフォーマットをされていません。フォーマットをやり直してください。
	カードなし	P2カードが挿入されていません。カード認識待ち。
	認証外のカード	認証できないmicroP2メモリーカードです。「CPSの手動認証 / 自動認証」(→PDF43 ページ)を参照して認証してください。
	USB非アクセス	USBデバイスモードでP2カードにアクセスしていません。

◆NOTE:

microP2メモリー カードをゆっくりと挿入した場合、「FORMAT ERROR!」や「NOT SUPPORTED!」が表示されることがあります。その場合、もう一度挿入しなおしてください。

P2カードの記録時間について

本機で使用できるP2カード

本機では、別売品の4 GBから64 GBのP2メモリーカードおよびmicroP2メモリーカードが使用できます。(2013年10月現在)

◆NOTE:

- 1080/59.94p、1080/50pのAVC-Intra100選択時、およびメニュー「LINE&FREQ」に関係なくAVC-Intra200選択時は、以下のP2カードには記録およびコピーなどの書き込みはできません。
 - H、R、A、EシリーズのP2メモリーカード
- AJ-P2C002SG(2 GB)のカードは使用できません。
- P2カードの種類によっては、本機のアップデートが必要になることがあります。
- 取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、Webサイトを参照してください。(→「WebサイトURLについて」2 ページ)

P2カードの記録時間

(64 GB カード 1 枚使用の場合の例)

「LINE&FREQ」設定 (記録フォーマット)	「REC FORMAT」設定 (コーデック)	記録時間
1080-59.94P、1080-50P	AVC-I100	約32分
	AVC-G25	約110分
1080-59.94i、1080-50i	AVC-I100	約64分
	AVC-G25	約220分
1080/23.98PsF、1080/24PsF	AVC-I100	約80分
	AVC-G25	約275分
1080/29.97PsF、1080/25PsF	AVC-I100	約64分
	AVC-G25	約220分
720-59.94P、720-50P	AVC-I100	約64分
	AVC-G25	約220分
480-59.94i、576-50i	DVCPRO50	約128分
	DVCPRO	約256分

◆NOTE:

- 32 GBのP2カードの場合は上記の各記録時間の 1/2、16 GB の P2カードの場合は 1/4、8 GBのP2カードの場合は1/8となります。
- 表示容量には管理領域などが含まれており、記録に使用できる容量は上記より少なくなります。

P2カードに記録されるクリップの分割について

本機で8 GB以上のP2カードを使用した場合、1回の連続記録時間が下表に示す時間を超えると、自動的に別のクリップとして記録を続けます。なお、P2機器でクリップのサムネール操作(表示、削除、修復など)を行う場合は、1つのクリップとして操作できます。ノンリニア編集ソフト、およびパーソナルコンピューターなどでは、別々のクリップとして表示されることがあります。

なお、AVC-LongGコーデックを使用し32 GB超のmicroP2メモリーカードへ記録を行う場合は、メニュー「FILE SPLIT」(→PDF90 ページ)の設定により同一クリップとして記録を継続することができます。

記録フォーマット(ネイティブ記録を除く)	連続記録時間
AVC-I200、AVC-I100(1080p)	約3分
AVC-I100(1080i)、DVCPRO HD	約5分
AVC-G50、AVC-I50、DVCPRO50	約10分
AVC-G25、DVCPRO、DV	約20分

CPS(Content Protection System)について

microP2メモリーカードは、暗号化フォーマットを行うことで、第三者へのデータ流出を防止するセキュリティ機能である「Content Protection System」をサポートしています。

CPS 機能を利用するためには、本体にCPS パスワードを設定し、microP2メモリーカードの認証機能(→「CPSの手動認証 / 自動認証」PDF43 ページ)と暗号化フォーマット機能(→「P2カード / SDメモリーカードをフォーマットする」PDF42 ページ)を有効にします。同一のCPS パスワードが設定された機器間でのみ、暗号化フォーマットされたmicroP2メモリーカードが自動認証され、記録・再生可能なmicroP2メモリーカードとして利用することができます。なお、CPSパスワードについては「CPSの手動認証 / 自動認証」(→PDF43 ページ)を参照してください。

◆NOTE:

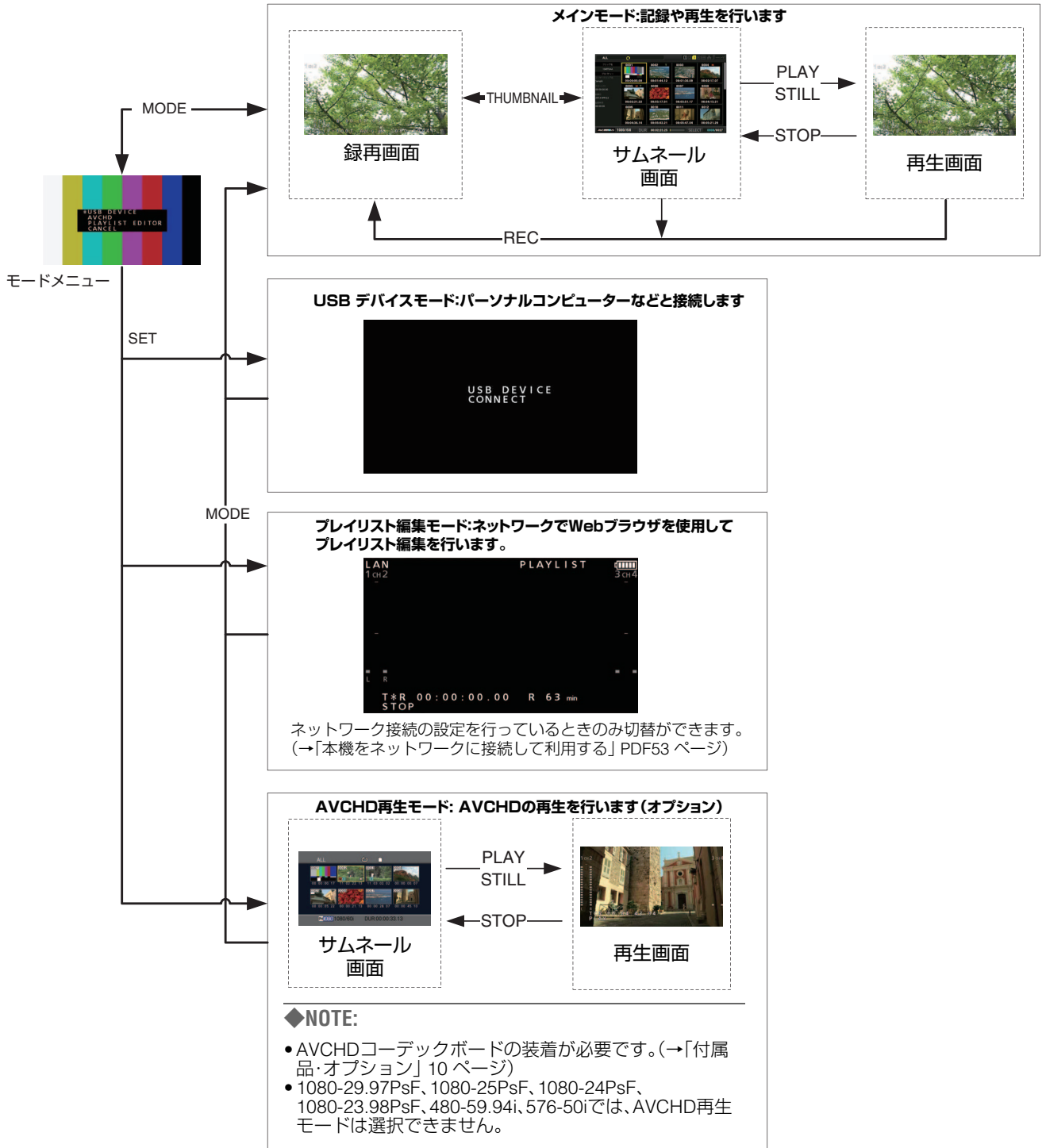
- パスワードは16文字まで入力可能です。
- 暗号化されたmicroP2メモリーカードはパーソナルコンピューターのSDカードスロットでは認識できません。
- 認証エラーになった場合、正しいパスワードで認証しなおすか、フォーマットすることで記録メディアとして使用いただくか、機器から取り出してください。認証エラーのカードを挿入したままで、手動認証、フォーマット以外の操作はしないでください。
- USBデバイスモードでパーソナルコンピューターから暗号化されたmicroP2メモリーカードにアクセスする場合は、P2 Viewer Plus で暗号化されたmicroP2メモリーカードを認証してください。

各種モードについて

本機には、メインモード、USBデバイスモード、AVCHD再生モード、プレイリスト編集モードの4種類のモードがあります。これらのモードは、[MODE]ボタンを押すと表示されるメニュー項目で、選択・切り替えができます。また、メインモードにはクリップのサムネールなどの表示・管理およびクリップの再生を行う「サムネール画面」と記録・再生を行う「録再画面」があります。

各モードおよび画面の概要は、下図の通りです。

- **録再画面:** 映像表示、タイムコードなどの表示、記録・再生操作を行います。
- **サムネール画面:** クリップのサムネールや各種プロパティなどの表示、およびクリップの管理と再生を行います。



メインモード

録再画面

録再画面では以下のことが行えます。

- P2カードへの記録
- 全カードの記録日時順の再生

クリップを記録する

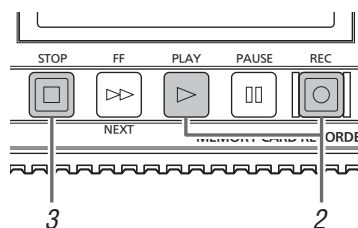
映像と音声をクリップとして記録します。

クリップの記録

記録する前にメニューで記録する周波数やフォーマット、記録するスロットおよび入力信号などを設定します。(→設定メニュー「SYSTEM MODE」PDF108 ページ、「REC/PB」PDF89 ページ)

◆NOTE:

オーディオの入力にアナログを選択した場合は、音声ファイルは8チャンネル(フォーマットにより4チャンネルの場合もあります)作成されますが、CH1,CH2以外には無音が記録されます。



1 P2カードを挿入する

2 [REC] ボタンを押しながら [PLAY] ボタンを押す

P2カードアクセスランプがオレンジ色に点灯しているスロットに、記録を開始します。

◆NOTE:

メニュー「DUAL CODEC SETUP」-「CODEC USAGE」(→PDF91 ページ)を「PROXY REC(P2)」または「PROXY REC(P2&SD)」に設定して記録することにより、本素材の記録と同時にプロキシ記録を開始します。(→「デュアルコーデック(プロキシ)記録」PDF26 ページ)

3 [STOP] ボタンを押して記録を停止する

◆NOTE:

本機のP2メモリーカードスロット(1,2)とmicroP2メモリーカードスロット(3,4)の混在した記録はできません。メニュー「REC/PB SETUP」-「REC MEDIA」(→PDF90 ページ)で記録対象のスロットを選択してください。

■ 記録音声レベル調整について

次の方法で記録する音量レベルの変更ができます。

1. [AUDIO LEVEL-REC]ボタンを押す

記録ボリュームが表示されます。

2. マルチコントロールダイヤルを回す

全チャンネルのレベルが操作できます。

◆NOTE:

[上] / [下]カーソルボタンでも操作できます。

3. [左] / [右]カーソルボタンで音声チャンネルを個別に選択する

選択したチャンネル番号が点滅し、チャンネルごとに操作ができます。

4. 調整を終了後、[AUDIO LEVEL - REC]ボタンまたは [EXIT]ボタンを押す

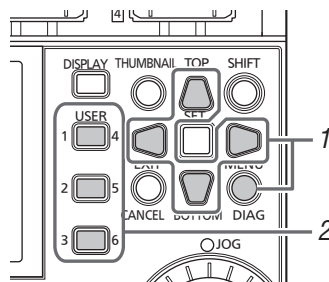
設定値を保存し、表示が消えます。

◆NOTE:

- 設定した値は、電源を切っても変わりません。
- 音声レベルの変更中に[RESET]ボタンを押すと基準値に戻すことができます。

■ 記録スロットの変更について

記録中または停止中に記録対象のスロットを変更することができます。



1. メニュー「USER BUTTON」(→PDF102 ページ)で、[USER] ボタンに「SLOT SEL」機能を割り当てる

2. 記録中または停止中に、[USER] ボタンを押す。

押すたびに記録スロットが変更されます。

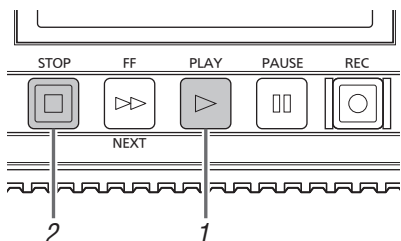
◆NOTE:

- 記録対象のP2カードに切り替えを行った直後などでSLOT SELECTが行えなかった場合は、メニュー「OSD TC SELECT」(→PDF100 ページ)を「T&S&M」に設定しているときに、OSDの3行目に「SLOT SEL INVALID」と表示します。
- SLOT SEL機能で切り替わるスロットは、メニュー「REC/PB SETUP」-「REC MEDIA」(→PDF90 ページ)で選択されたスロット内に限定されます。

クリップを再生する

再生する




再生する前に、メニューで再生する周波数やフォーマットなどを設定します。(→設定メニュー「SYSTEM MODE」PDF108ページ)



1 [PLAY] ボタンを押す

再生が始まります。再生はクリップの記録順に再生されます。

◆NOTE:

- [PLAY]  ボタンの代わりに、[REW]  ボタンを押すと早戻し再生、[FF]  ボタンを押すと早送り再生を行います。
- 異なった映像フォーマット(1080i、1080pなど)や異なった圧縮記録フォーマットを再生すると、クリップとクリップの間で映像、音声が入乱れることがあります。
- 同じフォーマット映像で音声ビット数が異なったクリップを連続再生すると、クリップ間の音声がミュートになります。

2 [STOP] ボタンを押す

再生が停止し入力画(EE)が表示されます。

◆NOTE:

停止時の画面を停止した位置の画(PB画)にするにはメニュー「STOP EE SEL」(→PDF90ページ)を「PB」にしてください。

■再生音声レベル調整について

次の方法で再生レベルの変更ができます。

1. [AUDIO LEVEL-PB]ボタンを押す

再生ボリュームが表示されます。

2. マルチコントロールダイヤルを回す

全チャンネルのレベルが操作できます。

◆NOTE:

[上] / [下]カーソルボタンでも操作できます。

3. [左] / [右]カーソルボタンで音声チャンネルを個別に選択する

選択したチャンネル番号が点滅し、チャンネルごとに操作ができます。

4. 調整を終了後、[AUDIO LEVEL - PB]ボタンまたは [EXIT] ボタンを押す

設定値を保存し、表示が消えます。

◆NOTE:

- 設定した値は、電源を切っても変わりません。
- 音量レベルの変更中に[RESET]ボタンを押すと基準値に戻すことができます。

サムネール画面

本機にはクリップを管理するためのサムネール画面があります。「クリップ」とは、画像、音声、メタデータなどの付加情報を含む、ひとかたまりのデータのことです。通常は記録を開始して停止するまでの、1回の記録によって生成される「1ショット」が「1クリップ」になります。複数のP2カードにまたがったショットについても単一クリップとして扱われます。

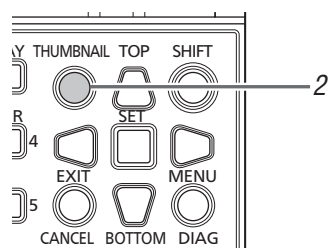
サムネール画面には、各クリップに記録されたサムネールが一覧表示されます。このサムネールを確認しながら、以下の操作を行ってクリップを管理できます。

- P2カードのクリップの再生
- ストレージデバイス内のクリップの簡易再生
- クリップのコピーや削除
- クリップにテキストメモを付加
- テキストメモの確認と削除
- ショットマークの表示と消去
- P2カードのフォーマット
- クリップのプロパティ表示
- P2カードの状態表示

◆NOTE:

- サムネールは、実際の映像の一部成分から生成されています。そのため実際の映像より荒いものとなります。
- サムネールに関するメニューはサムネール画面のときに操作できます。

サムネール画面を表示する



1 本機の[ON/OFF] ボタンを押し、電源をONにする

◆NOTE:

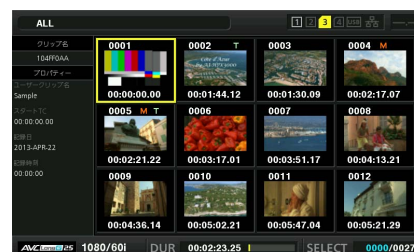
メニュー「POWER ON GUI」(→PDF94 ページ)で「THUMBNAIL」を選択している場合は、電源を入れるとサムネール画面が表示されます。

2 [THUMBNAIL] ボタンを押す

液晶モニターにサムネール画面が表示されます。再度[THUMBNAIL] ボタンを押すとサムネール画面が閉じ、録再画面表示(ビデオ映像)となります。

◆NOTE:

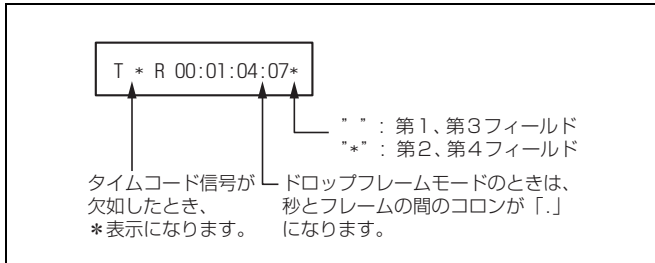
メニュー「GUI OUTPUT」(→PDF100 ページ)の設定で、VIDEO OUTやSDI MON OUT、HDMI OUT、SDI OUTなどに出力することができます。



タイムコード・ユーザーズビット・CTL

タイムコード

タイムコードは、タイムコードジェネレーターによって発生されるタイムコード信号を記録します。タイムコード値はディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。



ユーザーズビット

ユーザーズビットは、タイムコード信号のうちでユーザーに開放された32ビット(8桁)の情報枠のことで、オペレーターナンバーなどを記録することができます。ユーザーズビットに使用できる数字(文字)は0~9とABCDEFです。

CTL

再生時は、先頭から再生している画像までの相対位置が表示されます。記録は、カウンター値が「0:00:00:00」から開始されます。記録終了時は、先頭からの相対位置が表示されます。

◆NOTE:

AVCHD再生モード時は表示しません。

タイムコード/ユーザーズビットの設定

内部モード

- 1 停止モードにする
[STOP] ボタンを押して、停止モードにしてください。
- 2 [COUNTER] ボタンで「TC」または「UB」を選択する
- 3 メニュー「RUN MODE」(→PDF91 ページ)でタイムコードジェネレーターの歩進方法を設定する

REC RUN: 記録中のみ歩進させる。

FREE RUN: 動作モードに関係なく歩進させる。

- 4 メニュー「TCG MODE」(→PDF91 ページ) / 「UBG MODE」(→PDF91 ページ)でTCとUBの各モードを設定する

REGEN: P2カードに記録された最終タイムコードとのタイムコードの連続性を保つ。

PRESET: [TC PRESET]ボタンで設定された値から記録を開始する。

EXT: 外部タイムコード入力に従って記録する。

- 5 [TC PRESET] ボタンを使ってタイムコード / ユーザーズビットの開始値を設定する

TC/UBの設定方法:

- 1) [TC PRESET] ボタンを押す
左端の桁が点滅します。
- 2) [上] / [下] カーソルボタンを押して値を変更する
- 3) [左] / [右] カーソルボタンを押して、設定する桁を選択する

選択された桁が点滅します。
設定範囲は次の通りです。

タイムコード:	<59.94 Hz><29.97 Hz> 00:00:00:00 - 23:59:59:29
	<50 Hz><25 Hz> 00:00:00:00 - 23:59:59:24
	<23.98 Hz><24 Hz> 00:00:00:00 - 23:59:59:23

ユーザーズビット:	00 00 00 00 - FF FF FF FF
-----------	---------------------------

- 6 手順5の2)~3)を繰り返して、値を変更する

[RESET] ボタンを押すと、プリセット値を0にリセットできます。

7 開始値の設定終了後、[SET] ボタンを押す

メニュー「RUN MODE」(→PDF91 ページ)を「FREE RUN」に設定したときは、すぐにタイムコードの歩進が開始します。

設定をキャンセルするには、[EXIT]ボタンまたは<CANCEL>ボタンを押します。

■ 電源供給がないときのタイムコードについて

電源供給がないときもバックアップ機能がはたらいて、タイムコードジェネレーターは長時間(約3か月)動作を続けます。

◆NOTE:

メニュー「SYSTEM MODE」-「LINE&FREQ」(→PDF108 ページ)の設定を変更したとき、歩進データはクリアされます。

外部モード

1 [STOP]  ボタンを押して、停止モードにする

2 [COUNTER]ボタンで「TC」を選択する

3 メニュー「TCG MODE」(→PDF91 ページ) / 「UBG MODE」(→PDF91 ページ)を「EXT」にする
(外部タイムコードの選択)

4 メニュー「EXT TC SEL」(→PDF92 ページ)で、外部入力タイムコードの種類を選択する

EXT LTC: リアパネルのTIME CODE IN端子(BNC)に入力されるLTC信号を記録します。

SLTC: SDI IN端子に入力されるシリアル信号に付加されるLTC信号を記録します。

SVITC: SDI IN端子に入力されるシリアル信号に付加されるVITC信号を記録します。

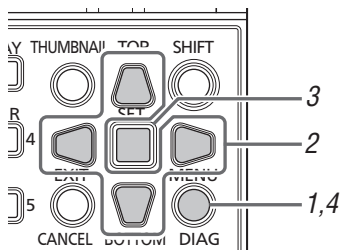
◆NOTE:

「SLTC」、「SVITC」設定時に、入力信号として「SD SDI」が選択されているときは、入力ビデオ信号のVITCが記録されます。

設定メニュー

メニューの操作

メニューは次のように操作します。



1 [MENU] ボタンを押し、メニューを表示する

2 カーソルボタンで該当のメニュー項目にカーソルを合わせる

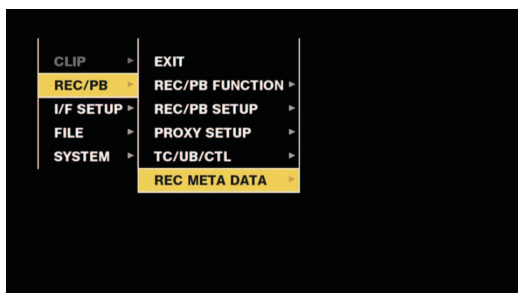
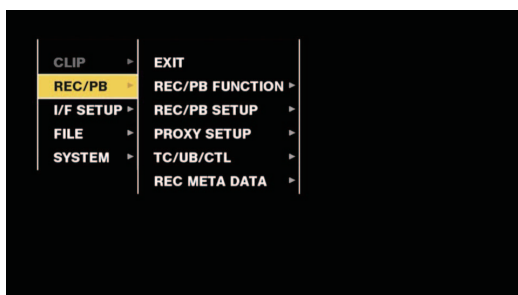
次の階層にメニューがある場合はメニュー項目に「▶」が表示されています。

◆NOTE:

- [上] / [下] カーソルボタンを押すとカーソルが上下します。
- [右] カーソルボタンまたは[SET] ボタンを押すと、下位のメニューが開きます。
- [左] カーソルボタンまたは[EXIT] ボタンで上の階層へ戻ります。
- マルチコントロールダイヤルでもメニューの操作が可能です。

マルチコントロールダイヤルを回すと、[上] / [下]カーソルボタンを押した場合と同様の操作となります。

マルチコントロールダイヤルを押すと、[SET]ボタンを押した場合と同様の操作となります。



3 [SET] ボタンを押す

◆NOTE:

- メニュー項目によっては、確認画面が表示されます。
- カーソルボタンで処理を選択し、[SET] ボタンを押します。
- 設定した項目には、項目の前にチェックマークがつきます。
- 一部のメニューでは、数値設定のための画面が表示されません。
- システムの周波数設定が変わる場合は再起動が必要となります。

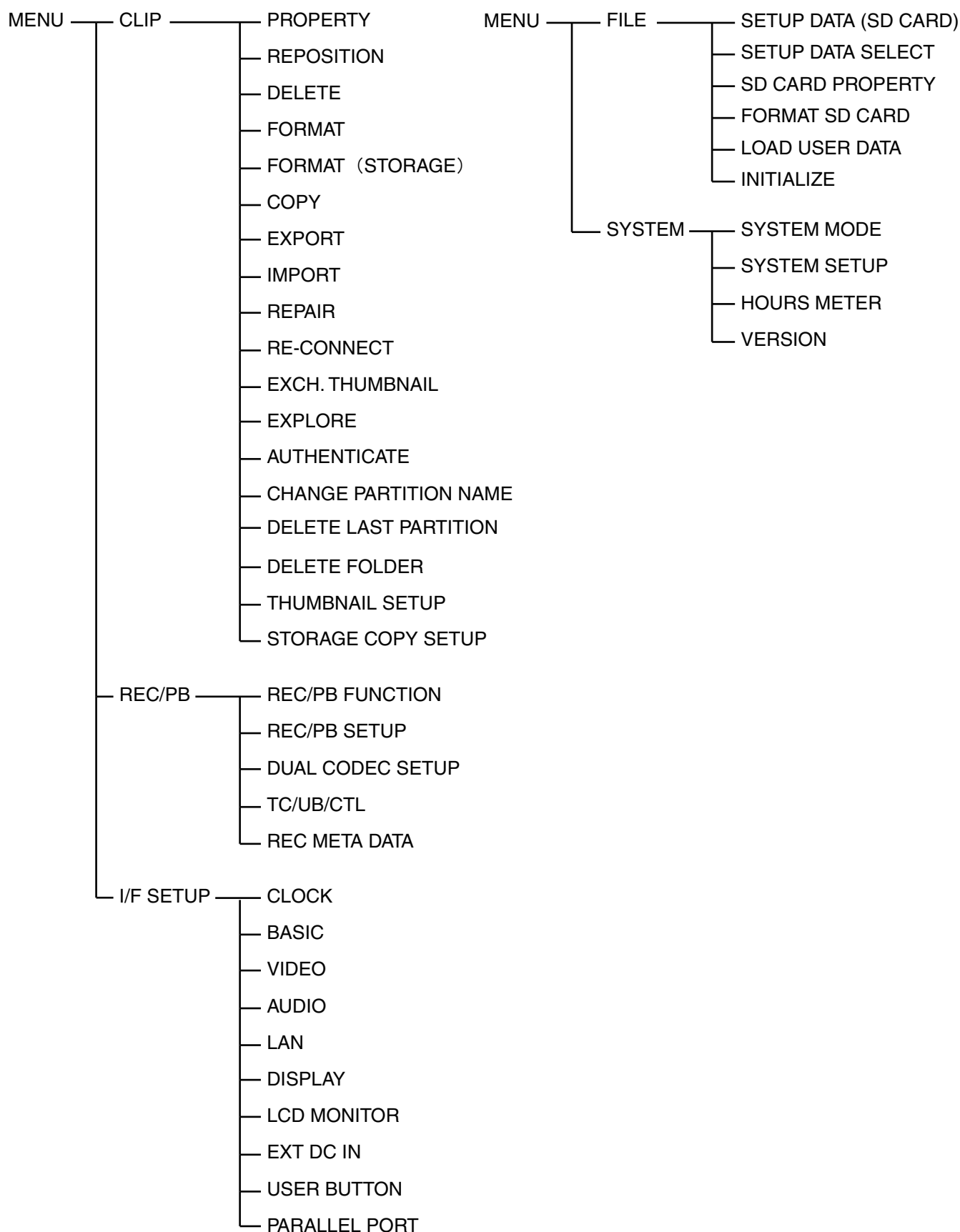
4 [MENU] ボタンを押し、メニューを終了する

◆NOTE:

メニュー項目によっては、自動的に元の画面に戻ります。

設定したデータの保存と読み込み、および工場出荷状態への設定方法は、PDF106~107ページをご参照ください。

メニュー構成



保証とアフターサービス(よくお読みください)

故障・修理・お取扱い・メンテナンス などのご相談は、まず、 お買い上げの販売店 へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社(裏表紙)までご連絡ください。

*内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますのでご了承ください。

保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。
万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間:お買い上げ日から本体1年間

補修用性能部品の保有期間 8年

当社では、Memory Card Portable Recorderの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。

*補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保守・点検

保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。

部品の劣化、ごみ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を推奨いたします。

保守・点検(有料)についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

メンテナンス時間の目安と実施項目

下記のメンテナンス実施時間は、標準的な目安として設定しており、部品の寿命時間ではありません。また、使用する環境や使用方法により劣化する時間は異なりますのでお気をつけください。

部品名	数量	定期保守点検と時間
液晶モニター	1	LCD ON 8,000時間ごとに交換
ファン	1	12,000時間ごとに交換

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認くださいのうえ、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ ご連絡いただきたい内容

品名	メモリーカードレコーダー
品番	AJ-PD500
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定格

総合

電源: AC(～) 100 V-240 V、50 Hz/60 Hz、45 W
DC(＝) 12 V、3.6 A(オプション含む)

は安全項目です。

動作周囲温度:	0℃～40℃
動作周囲湿度:	10%～80%(結露なし)
保存周囲温度:	-20℃～50℃
質量:	3.65 kg
外形寸法(幅×高さ×奥行):	210 mm×125.5 mm×253 mm (ハンドル、セット足、ツマミ、端子を除く)
記録メディア:	P2メモリーカード、microP2メモリーカード
記録フォーマット:	AVC-Intra200 / AVC-Intra100 / AVC-Intra50 / AVC-LongG50 / AVC-LongG25 / AVC-LongG12 DVCPRO HD / DVCPRO50 / DVCPRO / DV フォーマット切り替え
プロキシーファイルフォーマット:	MP4(ISO/IEC14496規格)、MOV(QuickTime形式)
プロキシービデオ圧縮フォーマット:	MPEG4 Simple Profile、H.264/AVC Baseline Profile、H.264/AVC High Profile
プロキシーオーディオ:	AAC-LC、リニアPCM
記録ビデオ信号:	1080/59.94p、1080/50p、1080/59.94i、1080/50i、1080/29.97PsF、1080/25PsF、 1080/24PsF、1080/23.98PsF、720/59.94p、720/50p、480/59.94i、576/50i
記録オーディオ信号:	AVC-Intra200 / AVC-LongG50 / AVC-LongG25: 48 kHz 24 bit 8CH AVC-LongG12: 48kHz 16bit 4CH AVC-Intra100 / AVC-Intra50: 48 kHz 16 bit 8CH 48 kHz 24 bit 8CH DVCPRO HD: 48 kHz 16 bit 8CH DVCPRO50: 48 kHz 16 bit 4CH DVCPRO / DV: 48 kHz 16 bit 4CH

記録時間:

カード	記録方法(圧縮方式) 59.94 Hz / 50 Hz					
	AVC-Intra200	AVC-Intra100/ DVCPRO HD	AVC-Intra50/ AVC-LongG50/ DVCPRO50	DVCPRO	AVC-LongG25	AVC-LongG12
16 GB×1	約8分	約16分	約32分	約64分	約54分	約108分
32 GB×1	約16分	約32分	約64分	約128分	約110分	約220分
64 GB×1	約32分	約64分	約128分	約256分	約220分	約440分

◆NOTE:

- 1080/59.94p、1080/50pでは、上記時間の半分になります。
- 上記の時間は、いずれもP2カードに1クリップを連続記録したときのものです。
- 記録するクリップ数によっては、記録できる時間は上記より短くなることがあります。

ビデオ

デジタルビデオ

サンプリング周波数:	AVC-Intra200 / AVC-Intra100 / AVC-LongG50 / AVC-LongG25 / DVCPRO HD: (59.94 Hz) Y : 74.1758 MHz、P _B /P _R : 37.0879 MHz (50 Hz) Y : 74.2500 MHz、P _B /P _R : 37.1250 MHz
	AVC-Intra100 / AVC-LongG25: (1080/59.94p) Y : 148.3516 MHz、P _B /P _R : 74.1758 MHz (1080/50p) Y : 148.5000 MHz、P _B /P _R : 74.2500 MHz
	DVCPRO50: Y:13.5 MHz、P _B /P _R : 6.75 MHz
	DVCPRO: Y : 13.5 MHz、P _B /P _R : 3.375 MHz
量子化:	AVC-Intra200 / AVC-Intra100 / AVC-Intra50 / AVC-LongG50 / AVC-LongG25: 10 bit AVC-LongG12 / DVCPRO HD / DVCPRO50 / DVCPRO / DV: 8 bit
ビデオ圧縮方式:	AVC-Intra200 / AVC-Intra100 / AVC-Intra50: MPEG-4 AVC / H.264 Intra Profile AVC-LongG50 / AVC-LongG25 / AVC-LongG12: MPEG-4 AVC / H.264 High Profile DVCPRO HD: DV-Based Compression (SMPTE ST 370)
カラーサンプリング:	AVC-Intra200 / AVC-Intra100 / AVC-LongG50 / AVC-LongG25: Y : P _B : P _R = 4 : 2 : 2
解像度:	AVC-Intra100 / AVC-LongG25 / AVC-LongG12: 1920×1080 (1080/59.94p、1080/50p) AVC-Intra200 / AVC-Intra100 / AVC-LongG50 / AVC-LongG25 / AVC-LongG12: 1920×1080 (1080/59.94i、1080/50i) 1280×720 (720/59.94p、720/50p) AVC-Intra50: 1440×1080 (1080/59.94i、1080/50i) 960×720 (720/59.94p、720/50p)

ビデオ入力信号

リファレンス入力:	BNC×1、ブラックバースト / HD3値SYNC自動切り替え
SDI入力:	BNC×1

ビデオ出力信号

SDアナログコンポジットモニター出力:	BNC×1
リファレンススルー出力:	BNC×1
SDI出力(HD/SD切り替え式):	BNC×2
SDIモニター出力(HD/SD切り替え式):	BNC×1
HDMI端子:	HDMI×1 (HDMI TYPE A端子)、(ピエラリンク非対応)

◆NOTE:

HDMI出力は480/59.94i、576/50iに対応していません。480/59.94p、576/50pに変換して出力します。

オーディオ

デジタルオーディオ

サンプリング周波数:	48 kHz (ビデオに同期)
量子化:	16 bit (AVC-LongG12 / DVCPRO HD / DVCPRO50 / DVCPRO / DV) 16 bit / 24 bit切り替え可能 (AVC-Intra100 / AVC-Intra50) 24 bit (AVC-LongG50 / AVC-LongG25)
ヘッドルーム:	12 / 18 / 20 dB (切り替え可能)
ディエンファシス:	T1=50 μ s、T2=15 μ s (ON / OFF自動切り替え)

オーディオ入力信号

アナログ入力(CH1、CH2):	XLR×2
デジタル入力:	BNC×2 (CH1/2、CH3/4)、AES/EBUフォーマット
SDI入力:	BNC×1

オーディオ出力信号

SDI出力:	BNC×3
アナログ出力 (CH1、CH2、モニター出力 (L/R) <切り替え式>):	XLR×2
デジタル出力:	BNC×2 (CH1/2、CH3/4) AES/EBUフォーマット
ヘッドホン出力:	ステレオミニジャック (3.5 mm径)、8 Ω 、レベル可変
HDMI出力:	2 CH (リニアPCM)
内蔵スピーカー:	丸型×1 (モノラル)

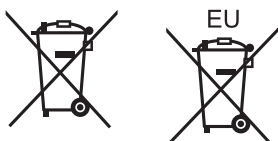
その他入出力

タイムコード入力:	BNC×1、0.5 V[p-p]~8.0 V[p-p]、10 k Ω
タイムコード出力:	BNC×1、ローインピーダンス、2.0 V \pm 0.5 V[p-p]
REMOTE	D-SUB 9pin×1、RS-422Aインターフェイス
PARALLEL REMOTE:	D-SUB 15pin×1
LAN:	RJ-45×1、1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T
USBホスト:	USB3.0 HOST (TYPE A)×1
USBデバイス:	USB2.0 DEVICE (TYPE B)×1
キーボード用:	USB2.0 (TYPE A)×1 (定格100 mAまで使用可)

◆NOTE:

この端子はキーボード接続用に設計されています。
消費電流が100 mAを超えるキーボードをご使用になると、保護回路が動作し、本体の電源がOFFになる場合があります。

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらのシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、
正しい廃棄方法をお問い合わせください。